

災害対策用移動通信機器の貸出機器

災害時には被災自治体に対して、北海道災害対策本部等とも連携し、移動電源車や連絡用無線機等をプッシュ型により貸与するほか、臨時災害放送局の開設を支援します。また、平時の防災訓練での活用も可能です。
令和6年度からは能登半島地震の災害復旧活動等で活躍した衛星インターネット（スターリンク）等が貸出し可能となりました。

放送設備	周波数	送信出力	空中線系	付属装置
臨時災害放送局用機器 2設備(全国22設備)	76.1～94.9MHz	10～100W	アンテナ、伸縮マスト(1.3m～6m)、同軸ケーブル20m、ダミー抵抗(自然空冷式)	マイク、ヘッドフォン、電源ケーブル(ドラム30m)等



災害対策用移動通信機器	特徴
衛星インターネット(スターリンク) 1台(全国 12台)	携帯電話が使えない場所でWi-Fiを多人数で使える ポータブル電源、小型発動発電機もセットで貸出し可能
簡易無線:50台(全国 995台)	途中に壁など遮るものがなければ、3～4km程度の距離で通信が可能
MCA無線:10台(全国179台)	サービスエリア内のMCA端末間(中継局を中心に半径30km程度)で通信が可能
衛星携帯電話 (ワイドスターⅡ、イリジウム、アイサットフォン) 3台(全国36台)	南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置 (イリジウムは天頂が開けている屋外) することで、携帯電話が通じない場所からの電話連絡が可能
公共安全モバイルシステム:2台 (全国 24台)	携帯電話技術を活用した公共安全関係機関向けの無線システム トランシーバーアプリ搭載
可搬型蓄電池:6台(全国 78台)	スターリンクの連続使用時間: 約12時間程度 1512Wh
ICTユニット:1台(全国11台)	ICTユニットのWi-Fiエリア内でスマートフォン同士の音声通話等が可能。 また、衛星携帯電話等の外部通信回線と接続し、遠隔地との音声通話も可能。
公共ブロードバンドシステム 全国 11台(東京、大阪で保管)	災害等の現場において、対向通信により、映像伝送などのデータ通信が可能な VHF帯を使用した無線システム。伝送距離は最大25km程度

臨時災害放送局用機器

アンテナ ケーブル 電源ユニット ルーター (Wi-Fi)

衛星携帯電話 MCA無線 簡易無線

公共安全モバイルシステム 公共ブロードバンド ICTユニット

移動電源車 移動電源搬送車

移動電源車等	定格出力	定格電圧	連続稼働時間
移動電源車 1台	単相 5.5kVA	100V	36時間程度
移動電源搬送車 1台	搭載発動発電機 ガソリンタイプ: 単相 2.8kVA LPガスタイプ: 単相 2.2kVA	100V	ガソリンタイプ: 11時間程度 LPガスタイプ: 10時間程度
小型発動発電機 2台	ガソリンタイプ: 単相 1.6kVA	100V/12V	定格負荷時: 4.2時間 1/4定格負荷時: 10.5時間